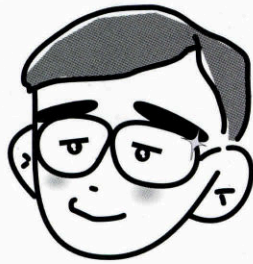


ながと日記 ばーと38

長門市長 松林正俊



みずゞさん
ありがとう

8月18日、下関市で「金子みずゞ詩の小径」の完成式が行なわれました。下関市長さんのご招待でも式典に参列しました。

編の詩のほとんどは下関で創作されたものです。当時、日本有数の国際都市、経済都市、文化都市であった下関はみずゞさんの憧れの地でもありました。きつと、初めてビルディングを見たのも下関であつたらうと思います。そんな下関の生活に胸ときめかせ仙崎を後にしたみずゞさんの心弾ませて小走りに通る姿が、所々に残された古い建物を眺めながら歩いていると目に浮かんできます。

「金子みずゞ記念館」の竣工式に駆けつけてくれた江島市長さんは、「下関市民は長門市の水を毎日飲んでるんですよ」と両市の深い関係に言及されました。「ムサシの巖流島をみて、こちらに来ました」と金子みずゞ記念館の来館者からよく聞きます。観光ルートのパートナーとしても良い関係を築けそうです。



8月12日、恒例の湯本温泉納涼祭が行われ、多くの人出でにぎわいました。メインの盆踊り大会には13チームが参加し、祭りを盛り上げました。

術・人材交流は捕鯨の歴史が示すようにお互い古くから行われていました。長門市は下関市を兄さんのように慕って発展をしてきたと云つてよいかもしれません。

「金子みずゞ詩の小径」の竣工式に駆けつけてくれた江島市長さんは、「下関市民は長門市の水を毎日飲んでるんですよ」と両市の深い関係に言及されました。「ムサシの巖流島をみて、こちらに来ました」と金子みずゞ記念館の来館者からよく聞きます。観光ルートのパートナーとしても良い関係を築けそうです。

広域合併を互いにひかえ、近い将来は隣同士になるかもしれない両市の関係を大切にすることを、みずゞさんは教えてくれている気がします。

みずゞさん、ありがとう

サントリーバレーボール教室 プロ選手たちが熱心に指導

7月30日、ながと総合体育館で長門市バレーボール協会主催の「サントリーバレーボール教室」が開かれ、長門市と大津郡内のスポーツ少年団、中学校バレーボール部に所属する子どもたち約250人が参加しました。

指導を行ったのは、プロチーム「サントリーサンバーズ」で活躍する荻野正二、佐々木太一、坂本雄一郎、清水雅之、桑田鎮典の5選手で、鬼ごっこなどで体をほぐした後、パスやレシー



ブ、アタックなどの基本技術を入念に指導しました。

サイン会に長い列

中島潔が描く金子みずゞ展

広報の表紙絵でお馴染みの中島潔さんの作品展が8月1日から1カ月間、ルネッサながとで開催されました。3日には中島さんのサイン会が行われました。



全身がキャンバス

西深川保育園・段ボールアート

8月19日、西深川保育園児43人が段ボールアートをしました。園児は、筆以外に手足や体中を使い、全身が絵の具だらけになつてお絵かきを楽しみました。



湯本温泉納涼祭

8月12日、恒例の湯本温泉納涼祭が行われ、多くの人出でにぎわいました。メインの盆踊り大会には13チームが参加し、祭りを盛り上げました。

